

岡谷市議会 総務委員会 行政視察報告書

【総体事項】

1. 視察日程：平成26年7月8日（火）～10日（木）

2. 調査事項（視察先）
 - （1）富山市シティプロモーション推進事業について（富山県 富山市）

 - （2）小中一貫教育の推進について（石川県 珠洲市）

 - （3）災害に強い安全・安心のまちづくりについて（石川県 輪島市）

3. 視察参加委員

委員長	清水	將弘
副委員長	山之内	寛
委員	今井	康喜
委員	武井	富美男
委員	鮎澤	美知
委員	共田	武史

【視察地報告】

1. 調査事項

富山市シティプロモーション推進事業について（富山県 富山市）

人口：約419,600人 面積：約1,242km²

（視察事項）

富山市では、暮らしやすく魅力にあふれ、多くの人に「選ばれるまちづくり」を目指している。特に、公共交通沿線に都市機能を集積させる拠点集中型の「コンパクトなまちづくり」を進め、またキャッチフレーズに「アメージング富山」を掲げ、富山市の魅力を世界に発信している。

「選ばれるまち」を目指す柱の一つとして、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を掲げ、「公共交通の活性化」などを推進している。

話題性のある事業を展開して、富山市のシティプロモーションを発信することを目指すため、市の取り組みそのものがシティプロモーションになっている。

2. 視察日時 平成26年7月8日（火） 13：30～15：30

3. 参加者の所感

- シティプロモーション事業は、知名度、ブランド力のアップ、都市の魅力創出など内容的に豊富である。知名度のアップには一定の財政支出が必要で、岡谷市にも産業観光、製糸関連施設など誘客できる資源があるので、JR山手線車両内での広告など実施したらどうか。
- 「選ばれるまちづくり」を推進しており、そのセンスの良さが実感できた。自転車の市民共同利用システムは産業観光都市としての顔を持つ岡谷市においても点在する観光拠点をつなぐ足として取り組む課題と思う。都市の規模は違い、岡谷市においてはコンパクトシティを目指しているが、小さいからできることもあるので、創意と工夫で楽しいまちづくりをしたい。
- 都市規模の違いは感じるが、さまざまな媒体を使っての情報発信は参考になる。岡谷市においても取り組みを一考できないか。

【視察地報告】

1. 調査事項

小中一貫教育の推進について（石川県 珠洲市）

人口：約16,100人 面積：約247km²

（視察事項）

珠洲市では、人口の流出が進んでいるが、教育については「子どもたちは地域の宝で、地域で育てる」との方針を掲げ、学校はできるだけ地域に残すとの考えで、平成24年から施設併設型の小中一貫教育に取り組んでいる。

珠洲市の小中一貫教育の特徴として、4－3－2制の導入、さらに小学校5年生から中学校1年生の教科書を早期給与しての英語教育の実施や小学校1年生から外国活動を行うなどが挙げられる。

小中学校の先生方が交流することによって先生自身の意識改革が図られ、それが子どもたちに伝わる。また、先生方が意欲的であり、「システムによって教員が育っていく」ことを実感しているとのことであり、児童生徒の学力も向上したとのことである。

2. 視察日時 平成26年7月9日（水）13：00～15：00

3. 参加者の所感

- 教職員への小中兼務辞令や職員室を一つにするなどは、職員の意識改革や指導力の向上につながっていると実感できた。岡谷市においても取り組みが行える地区は検討したらどうか。
- 習熟別に少人数で学習している姿、オープンな教室が印象的であった。ほかにも小中一貫校を視察しているが、皆成功している印象である。
- 中学校において小学校の学習を復習できたり、英語教育を小学校から実施するなどメリットもあるが、児童生徒の人間関係が固定される恐れがあり、慎重な対応も必要ではないか。
- 小中一貫校のほかに、中高一貫校があり、中学受験などを踏まえた指導体制も必要ではないか。

【視察地報告】

1. 調査事項

災害に強い安全・安心のまちづくりについて（石川県 輪島市）

人口：約29,500人 面積：約426km²

（視察事項）

輪島市は、平成19年3月に震度6強の能登半島地震があり被災したが、それ以降、防災・減災について様々な取り組みを行っている。

まず、地域での共助を図るため自主防災組織の結成促進に取り組み、現在132の組織が結成されている。また、防災の専門知識を持った防災士の育成として、市独自で防災士育成講座を開催し、さらに受講費用を全額補助して防災士の資格取得を進め、現在410名（内女性57名）が各地区で活躍している。

一般の避難所では生活がしにくい方（障がい者、妊婦さんなど）のための福祉避難所については、施設と設置運営協定の締結、マニュアルの策定、訓練の実施を3本の柱として取り組みを行い、現在では、協定を20事業所と締結、マニュアルも策定後3回の見直しを行い、運営訓練も実施している。

2. 視察日時 平成26年7月10日（木）9：30～11：15

3. 参加者の所感

- 災害発生時はその場で即働ける人、また人を動かせる人の存在がより重要で、防災士の育成は早急に取り組むべきと思う。
- 防災・減災について積極的に事業を進めており、優れた施策であると感じた。
岡谷市も高齢化率が高くなっており、福祉施設を利用した福祉避難所の設置・運営委託を検討したらどうか。
- 福祉避難所は大変参考になった。個人情報保護など課題もあるが平常時の訓練は大切なことである。